



長崎県大村湾にある田島でのひと時。自炊を楽しむ元阿佐谷福祉工房のご利用者様

### 阿佐谷福祉工房

#### にぎやかな風で田島フェア

施設長 佐藤 章



おいしいお米をおむすびに！

阿 佐ヶ谷駅のガード下にあ  
るお店「にぎやかな風」  
で長崎県の大村湾に浮かぶ全  
長約3kmの無人島で「体験リ  
ゾート」「安心安全の自然裁  
培農法」「福祉」など様々な  
取り組みを行っている田島の  
紹介を行いました。  
今年のゴールデンウィーク  
には、三井不動産リアルティ  
株式会社就職された2名の  
方が、自分で稼いだお金を使  
って2泊3日その島を訪れ、  
自然を満喫し帰ってきました。  
その時の様子を写真パネルで  
展示し、紹介するとともに、  
島でとれた完全無農薬無肥料、



お店番として頑張っています

合鴨農法で採れたお米の販売  
とのお米の他、国産の厳選  
素材でむすんだ「おむすび」  
の販売や工房のシルクスクリ  
ーン印刷で製造した田島Tシ  
ヤツの販売等を行いました。  
工房では日頃より地域資源  
を有効活用し、ご利用者様や  
就職された方の「自立と共生  
」のために支援を惜しまず行  
っています。にぎやかな風で  
は、プクプクブランドのパン  
や当工房のラスク・クッキー  
をカフェでお楽しみいただけ  
ます。ご利用者様もガイドヘ  
ルパーの方等とご休憩にお使  
いいただいております。  
皆さまのご来店をお待ちし  
ています。

### あけぼの作業所

施設長 荻野 路子

#### 「TUNAGU」 in 六本木ヒルズ

天 候に恵まれた5月3日、  
4日、当施設のキッチン  
カー「TUNAGU」が、六  
本木ヒルズアリーナでデビ  
ュしました。  
両日、(株)テレビ朝日ク  
リエイト様のイベントおよび  
J-WAVE主催のイベント  
が六本木ヒルズ内で開催され  
ていたため、会場は多くの方  
で一杯でした。  
お陰様で多くの方に来店  
いただき「タイカレー&ソー  
セージ」のセツトは大好評で  
した。  
今回は、日頃からお世話に  
なっている渋谷パークカフェ  
の入江様のご紹介で出店する



キッチンカー「TUNAGU」の雄姿



六本木ヒルズでデビュー

ことができました。  
とここでこのキッチンカー  
は、ポートルースの売上金の  
一部で事業支援を行う日本財  
団の福祉車両助成によるもの  
です。そして、ご利用者様の  
工賃アップに繋げる目的だけ  
ではなく、東日本震災を教  
訓にいざという時の命をつな  
ぐ架け橋(支援用車両)にな  
ることも目的の一つになっ  
ています。  
当日は、お一人でもいくつも  
お買い上げくださった方もい  
らっしゃいました。このイベ  
ントでお世話になったすべて  
の皆様へ感謝し、これからも  
がんばってまいります。

### 開設報告

室長 花山 隆洋

#### ピヨピヨおうちえん

4 月24日より、当法人の事  
業所内保育所「ピヨピヨ  
おうちえん」に第1号のご利  
用者0歳児1名を受入れまし  
た。阿佐谷福祉工房にお勤め  
のパートナーさんのお子さん  
です。皆さんのご利用を保育  
士一同お待ちしております。



手厚い保育体制にママも大満足

### いたる広報委員

発行責任者=谷山 哲浩  
社会福祉法人いたるセンター  
〒167-0032  
東京都杉並区天沼1-15-18  
TEL: 03-3392-7346  
FAX: 03-3391-8039  
Eメール: info@itarucenter.com/  
HP: http://www.itarucenter.com/  
発行日/平成26年7月1日

ご意見・ご感想がございましたら、  
上記のFAX、Eメール等でお声  
をお寄せ下さい。  
いたる広報委員まで。



いたる通信 53 夏号

### 目次 contents

- 01 いたるセンター  
クローバー・マルコ  
目黒本町福祉工房  
いたる相談室  
すまいる高井戸
- 02 いたる地域ケアセンター  
サポートウイズ  
グループホーム部  
PukuPuku  
さんまるしえ
- 03 阿佐谷福祉工房  
あけぼの作業所  
ピヨピヨ  
おうちえん

「いたる賛助会入会のご案内」  
の活動を支援していただける方を募集し  
ています。  
「幸せな地域社会を作りたい」がこの会  
設立の趣旨であります。  
年会費 1,050円(何口でも可)  
郵便振込み 00110712892  
口座 339217346 事務局 山本まで  
お問い合わせ

### 平成25年度事業報告・ 平成26年度事業計画について

理事長 谷山 哲浩

#### 【平成25年度事業報告】

4月、杉並区障害者地域相  
談支援センター高井戸を杉並  
区の指定管理事業として受け  
サビスを開始しました。い  
たる相談室は特定相談事業と  
して阿佐谷福祉工房と同じ建  
物内に移動させました。

9月、イタル成城の新築  
工事入札を実施しましたが、  
落札に至らず、11月の再入札で  
工事会社が決定しました。竣  
工は27年2月、開所は4月予  
定です。

5月、第11いたるホーム・  
タンゴ(5床)を開設し、順  
調に推移しております。次に、  
区有地の重度障害者ケアホ  
ム施設整備プロジェクトに参  
加しましたが、次点で落選と  
なりました。当法人は、現  
利用者様・障害者の高齢化対  
策として「終の住処」を創る  
ことが最重要事項となってい  
るため、今後も挑戦を続けま  
す。なお、職員配置のため人  
件費が大幅増となりましたが、  
来期は、世田谷区北烏山にグ  
ループホームカノンを新設し、  
行動を開始しました。

12月、三井不動産リアルテ  
イ株式会社とともにソーシャ  
ルオフィスプロジェクトを立  
ち上げました。重度障害者を  
企業に多数雇用していただく  
ことは当法人の念願かつ使命  
であり、ようやく阿佐谷福祉  
工房の3名が清掃業務で企業  
雇用に繋がりました。  
東京都の実地検査では、定  
款や役員報酬に関して理事  
会・評議員会の諮問・議決等  
を行い、都の指導に従い速や  
かに改善の方策を実行し、年  
度内に改善点の解決に向けた  
行動を開始しました。

#### 【平成26年度事業計画】

社会的課題の解決には、地  
域福祉の確立が重要です。昨  
年度より進めてきた「いたる  
維新」構想を具現化していま  
います。  
■障害から福祉へ■揺りかご  
から墓場まで■24時間365  
日の安心・安全等をキーワー  
ドに、「福祉・介護・医療・  
教育・農業」という「5つの  
事業ドメイン」への本格的な  
挑戦を始めます。特に、「食  
と健康」というテーマについ  
ては、グリーンケア(自然と  
ふれあえる農園や牧場など  
障害者も健常者も分け隔てな  
く、誰もが意味もあること、  
できることをすることで、心  
のケアを行う)の考え方に基  
づいた、ソーシャルファーム  
の実現を目指します。  
こうした改革の推進にあた  
り、平成26年度はまず、「環  
境整備」と「職員の意識改革」  
の二点を掲げました。

### クローバー・マルコ 洗濯サービスの開始

マネージャー 影山 仁美  
(かげやま ひとみ)

クローバーでは天沼屋舎の建て替えに伴い、洗濯サービスを中止しておりましたが、平成26年1月より洗濯機・乾燥機の設備を整えることができたので、宿泊される方への洗濯サービスを再開させていただき運びとなりました。

洗濯を希望される方・希望されない方がいらっしゃるため、各ご利用者様のご希望に

### 目黒本町福祉工房

#### 来年の干支土鈴製作中!

現在作っているのは来年の干支「未(こ)ひつじ」です。土鈴作りは毎年12月より再来年の干支モチーフの構想



絵馬型と立体型の2種類をご用意

を練り始めます。再来年だけに少々ぴんとこない中、スタッフ間でアイデアを出しあいイメージを膨らませていきます。

今回は二種類の石膏型を作製。昨年に引き続き人気の高い「絵馬型」と、ひつじの形を活かした「立体型」ができあがりしました。立体型は実際に絵付けをしてみると、想像を越えた「ゆるい」可愛さが

落ちてくる恐れのある衣類はそのままお持ち帰りいただきます。なお、このサービス開始により、衣類関係は少量のご用意で宿泊していただけるので、是非ご活用ください。 ※バスタオル含めたタオル関係や防水シート等もこちらで用意しております。



最新型のランドリーを導入

ありました。

ご利用者様やスタッフ達からは「ポケオンのモンスターみたい」「ジブ〇の映画に出てきそう」と想定外の感想をいただき、その反響に驚きました。粘土の接着面の厚みが、モチーフに「ゆるさ」を備えさせ、思わぬ好評を得られたようです。

9月の本町まつりから販売予定です。今後も手作業ならではの「温かみのあるモノ作り」をご利用者様の皆さんと共に進んでまいります。

### いたる相談室

室長 渡邊 紀子  
(わたなべ のりこ)

#### 児童支援利用計画について

お手元に何色の受給者証がありますか?

福祉サービスをご利用のお子様は、サービスの内容によって計画の名称・要否が異なります。

オレンジ色の受給者証(児童通所受給者証)をお持ちの方は児童支援利用計画の対象です。法律上の名称は「障害児支援利用計画」ですが、杉並区では「児童支援利用計画」と言います。黄色の受給者証(障害福祉サービス受給者証)のみの方は「サービス等利用計画」、緑の受給者証(移動支援事業受給者証)のみの方は計画不要です。

複数の受給者証をお持ちの方は、オレンジ色が優先と考えていただくと解りやすいと思います。複数の計画を別々に作成する必要はなく、計画の目的・内容は、サービス等利用計画と同じです。

複数の受給者証をお持ちの方は、オレンジ色が優先と考えていただくと解りやすいと思います。複数の計画を別々に作成する必要はなく、計画の目的・内容は、サービス等利用計画と同じです。

### すまいる高井戸

センター長 春山 陽子  
(はるやま ようこ)

#### 二年目のすまいる高井戸をよろしく

今年の4月12日で、すまいる高井戸は2年目を迎えます。昨年度は、5600名

の方の利用がありました。今年度は、昨年度からの委託事業の相談事業・地域ネットワーク事業・自立支援事業、虐待を受けた方への見守り事業などのほか、6月1日より、

来所による視覚障害者の方への代読・代筆サービスを開始しました。官公庁や学校からの通知文書などの代読と簡単な代筆も行います。また、好評のパソコン講座は、2台のパソコンを購入し、昨年より利用しやすくなりました。

今年も気軽に立ち寄り、相談しやすいすまいる高井戸を目指します。どうぞよろしくお願ひします。



すぎ散歩に参加いただいた皆様

### パン工房 PUKUPUKU 店長 斎藤 真由子

#### おかげさまで開店5周年

パン工房 PUKUPUKU は、本年6月にお陰様で5周年を迎えることができました。それを祝い、6月20日から30日まで、「大感謝祭」を開催しました。期間中「懐かしの復刻パン」と称して、人気だった「黒糖生姜パン」(100円)、「カレーパン」(百八十円)などの販売をはじめ元パティシエであるパン職人の作る「手作り



人気のナンを通販!

### Sun Marche(さんまるしえ) 開店3周年を迎えて

店長 鈴木 健  
(すずき たけし)

さんまるしえは、本年6月に開店3周年を迎えました。おかげさまで、売上も順調に伸び、これもひとえに、目黒区の地域の皆様のご支援の賜物と感謝する毎日です。さて、この度記念月間として「手作り人形」の体験フ



手作り人形体験フェアのコーナー

7月は施設 SUN の家事代行サービスの取次など、商品以外のお客様サービスも取り込んでおり、目黒区の地域のお客様に愛されるショップ創りに取り組んでまいります。

### グループホーム部

世話人

三田 浩史  
(みた ひろし)  
今林 敏之  
(いまはやし としゆき)

#### GHカノン、世田谷区に堂々オープン!

5月1日、いたるセンターの世田谷区進出第一号となるグループホーム・カノンが、同区北鳥山に誕生いたしました。すぐに定員となり、当地での期待の大きさを感じています。

アパートを棟まるる改造し、モダンな雰囲気のホテルです。定員5名の2ユニット、合計定員10名が、新たな生活を始めています。

#### 【支援員のコメント】

日々、ご利用者様の皆様にどのように対応することが良いのかを考えて行動できるように努めています。頑張っていきます。(今林敏之) 色々な課題をクリアし、自ら提案ができるようになりました。よく、努力しております。よろしくお願ひいたします。(三田浩史)

### いたる地域ケアセンター

センター長 八巻 利子  
(やまき としこ)

#### サポートウイズとグループホーム部の支援連携



サポートウイズとグループホーム部の合同外出

昨年8月迄、サポートウイズとグループホームは個別に事業を展開していましたが、9月からはお互いにヘルパーさんや支援員さん達が双方の支援をしていくという形になりました。グループホームの通院介助や日勤・宿直はサポートウイズの職員やヘルパーさんもお手伝いし、サポートウイズの移動支援等をグループホームの職員さんが手伝うという新たな形が徐々に進んできています。

### サポートウイズ

施設長 八巻 利子  
(やまき としこ)

#### グループ外出について

お問い合わせください。

サポートウイズが開設されたから続けているグループ外出も6年になりました。今年度に入ってからサイボクハムでBBQ・高尾山のハイキングを行い、普段では見られない素敵な表情に出会ってきました。今後も夏は海の水族館・秋はさつま芋堀り・みかん狩り等を企画していきます。



ご利用者様が楽しめる企画を提案します